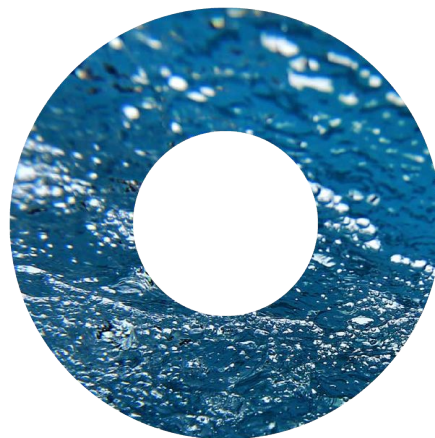


パルシシステム東京 学習会

# 第7次エネルギー基本計画の 政策決定プロセス

安井 裕之 Hiroyuki Yasui

Climate Integrate公共政策ディレクター



2 November, 2024

# Profile

**安井裕之 Hiroyuki Yasui**

**一般社団法人 Climate Integrate 公共政策ディレクター**

大学卒業後、事業会社で国内外における新規事業投資プロジェクトに係る規制課題の調査・分析、コンプライアンス体制の構築・強化に従事。

2017年に公共政策コンサルティングを専門とするマカイラ株式会社に参画。社会変革につながる新しいビジネス領域を中心に、政策提言や政府・自治体・NPO等との関係構築・連携支援を行う。一般社団法人シェアリングエコノミー協会でも、公共政策部長として、シェアリングエコノミーに関わる制度改革の実現や安心安全な利用環境の整備に向けた提言活動を展開している。

2024年、Climate Integrateに参加。京都大学法学部卒業。



## 気候政策シンクタンク

### 一般社団法人 Climate Integrate

- 持続可能な社会の実現のために、調査分析・対話・コミュニケーションを通じて政策と行動を促進
- 科学と政治と社会をつなぐ統合的なアプローチでさまざまなアクターの脱炭素への取り組みを支援





# 2024年はわたしたちの 未来を方向付ける分岐点

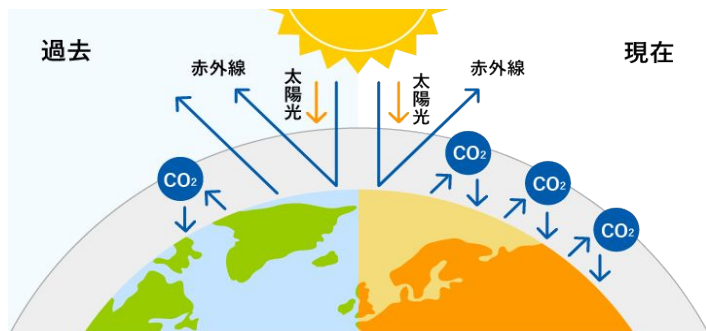




# 気候変動は、人類が直面する最も深刻な危機である

～気候変動を表す言葉がどんどん厳しい表現に変化し、危機感が募っている

地球温暖化 Global Warming  
気候変動 Climate Change  
気候危機 Climate Crisis  
気候非常事態 Climate Emergency  
地球沸騰化 Global Boiling



国連からも緊急性や大胆な行動を呼びかける発表が続く

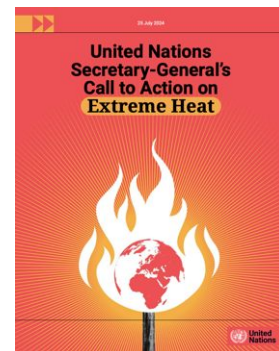
“我々は気候地獄に向かう高速道路でアクセルを踏み続けている” 2022.11

“全ての国に化石燃料企業からの広告を禁止するよう求める” 2024.6

“熱波が人々と地球に深刻な影響を及ぼすようになっている。我々は気温上昇に立ち向かわねばならない” 2024.11



グテーレス国連事務総長

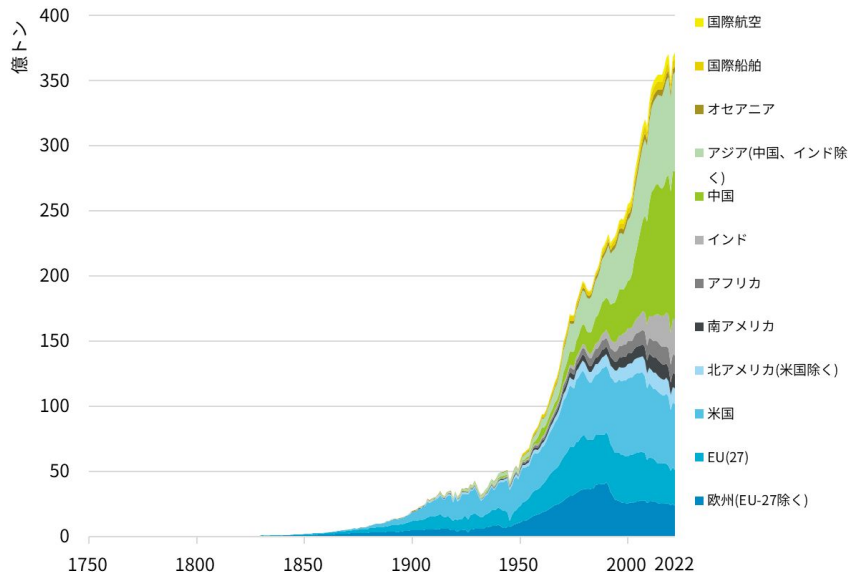


- ・気候変動：大気中の「**温室効果ガス**」濃度が増加し、地球の平均気温が上昇する現象
- ・温室効果ガス：CO2(二酸化炭素)、メタン、一酸化二窒素、代替フロン (HFC・PFC・SF6・NH3)

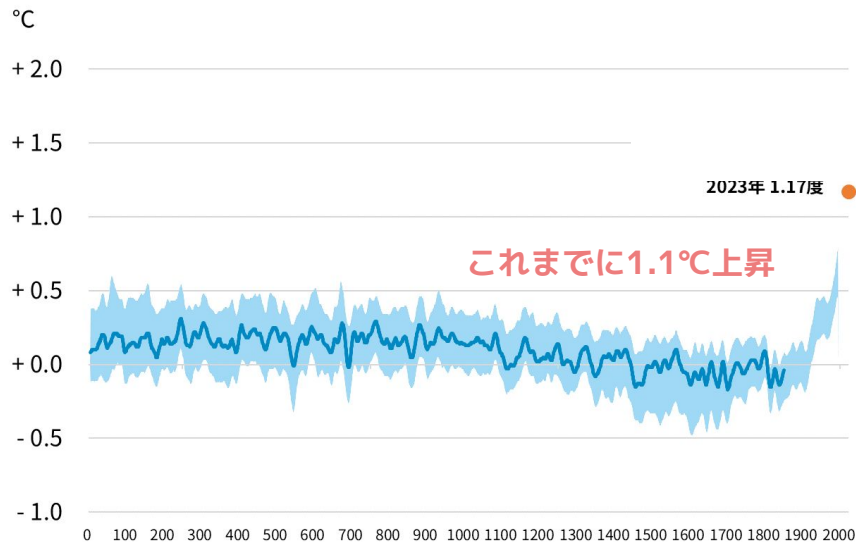
# 温室効果ガス・CO<sub>2</sub>の排出による温暖化の進行が深刻

～1850年頃からの化石燃料からのCO<sub>2</sub>排出が主要因（左図）で、地球の平均気温は前例のない温暖化に（右図）

## 世界の化石燃料起源のCO<sub>2</sub>排出量



## 世界の平均気温の変化



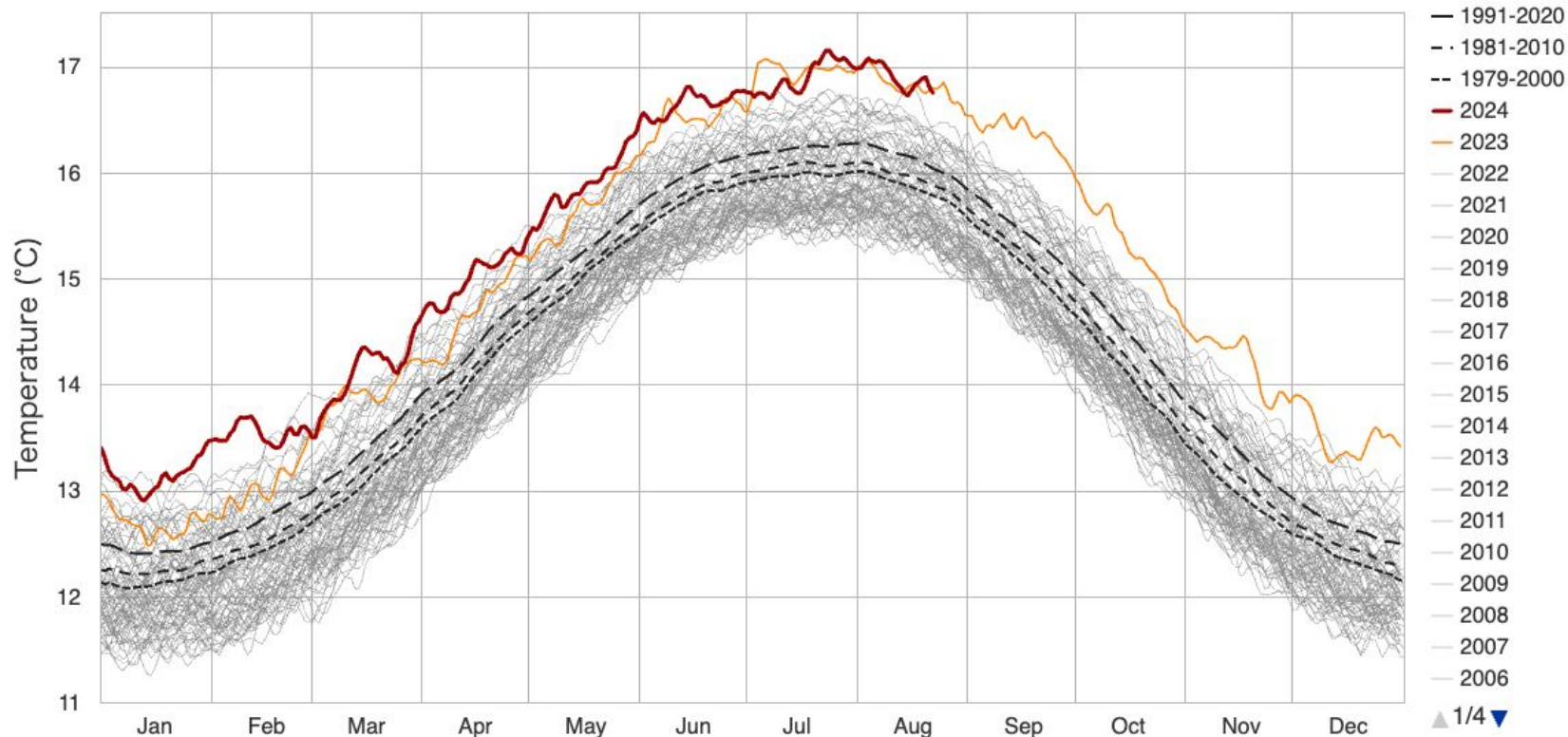
出典：Our World in Data, Global Carbon Budget よりClimate Integrate作成

出典：IPCC第6次報告書より、Climate Integrate「[気候変動の今](#)」

# 2024年の気温：さらに高い水準で推移

## Daily Surface Air Temperature, World (90°S–90°N, 0–360°E)

Dataset: ECMWF Reanalysis v5 (ERA5) downloaded from C3S | Image Credit: ClimateReanalyzer.org, Climate Change Institute, University of Maine

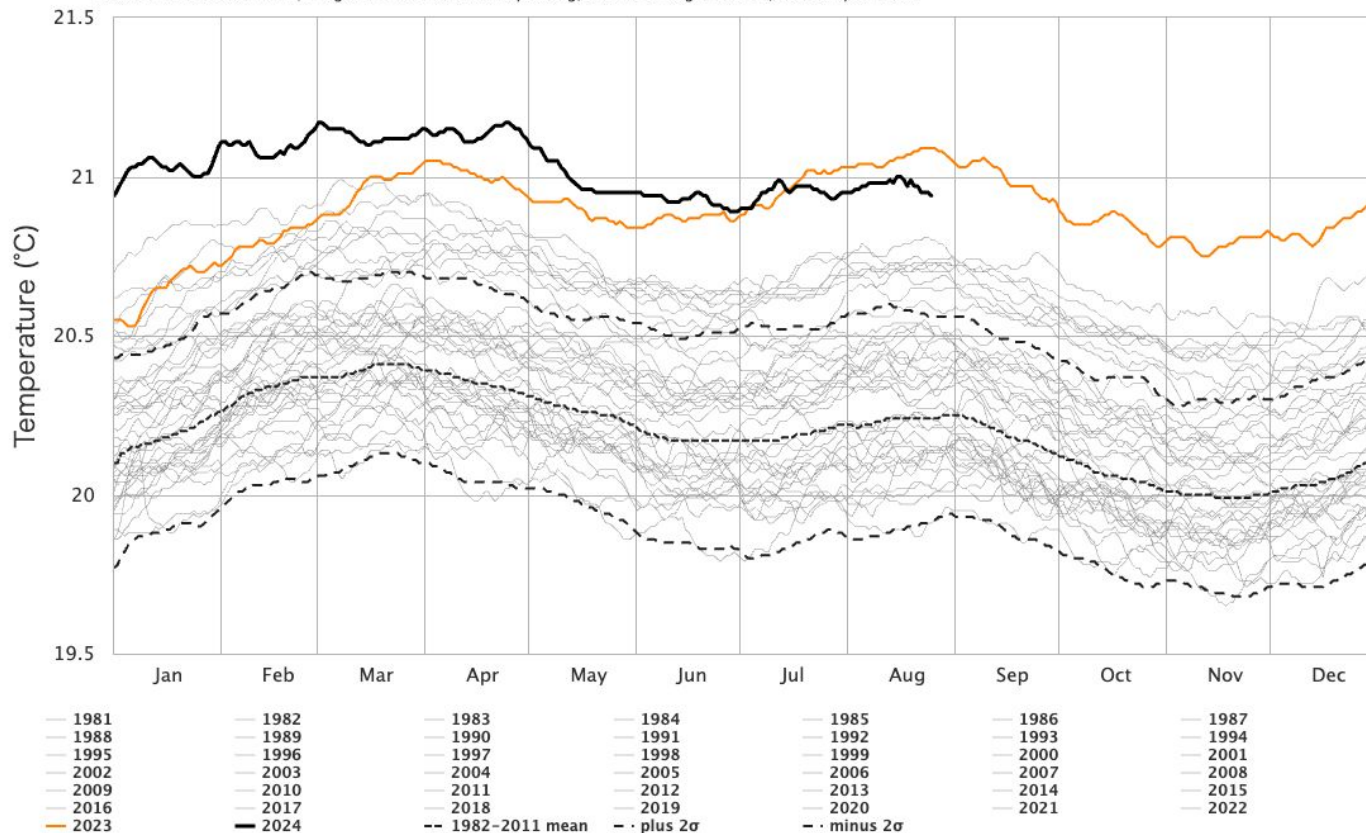




# 2024年の海水温：非常に高い水温を記録

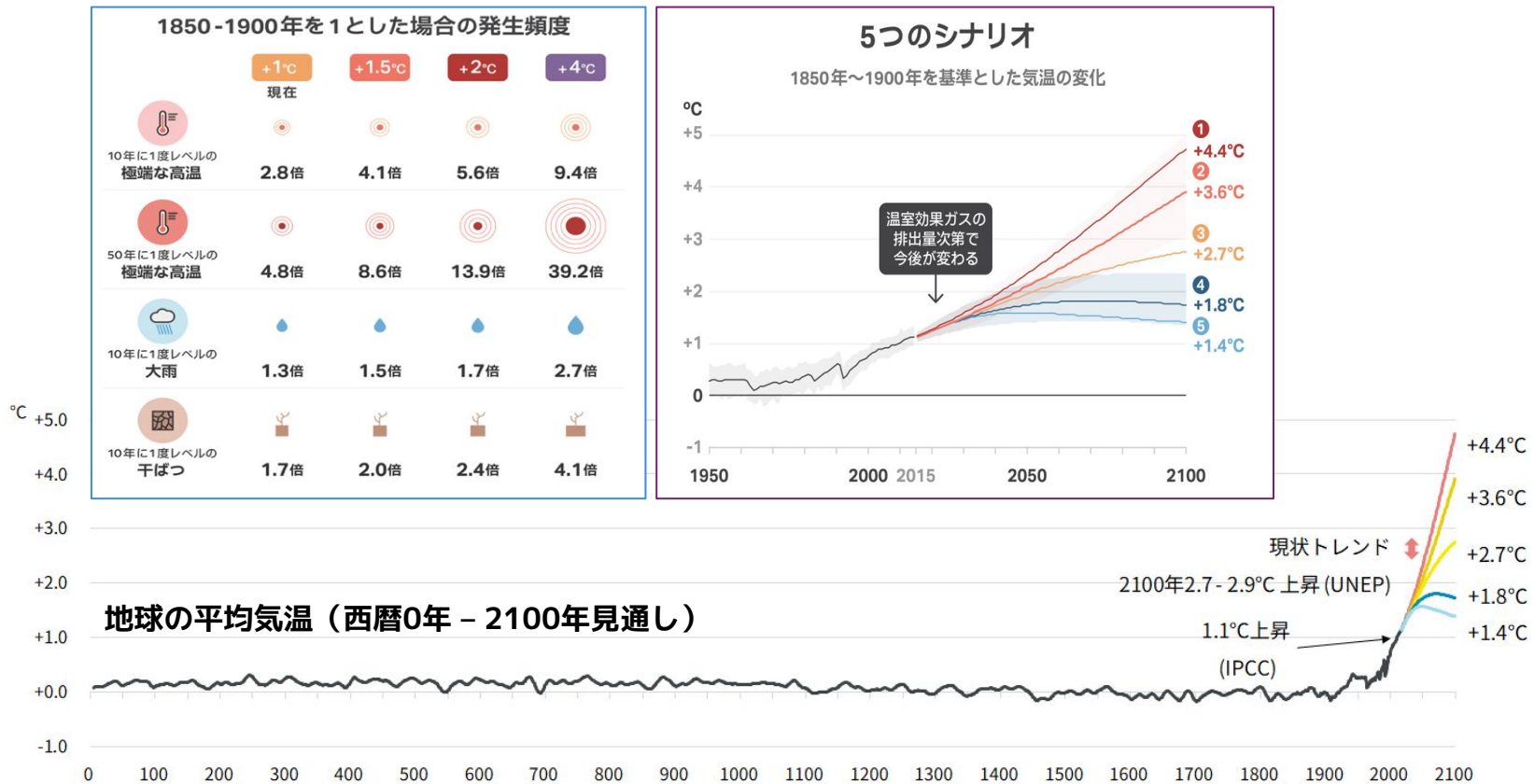
## Daily Sea Surface Temperature, World (60°S-60°N, 0-360°E)

Dataset: NOAA OISST V2.1 | Image Credit: ClimateReanalyzer.org, Climate Change Institute, University of Maine



# 今後さらなる気温上昇が予測し、さらなる気候の激甚化が予測

～現状のままでは2.5 – 2.9℃（シナリオ③）まで上昇するが、私たちの行動次第で上昇幅は変えられる



# 1.5°C上昇に抑制する世界目標の達成には、大胆な方向転換が必須

～世界で2030年に温室効果ガス43%削減、2050年に84%削減が必要

1.5°C実現のチャンスが  
狭まっており  
2030年までの  
大幅削減が重要

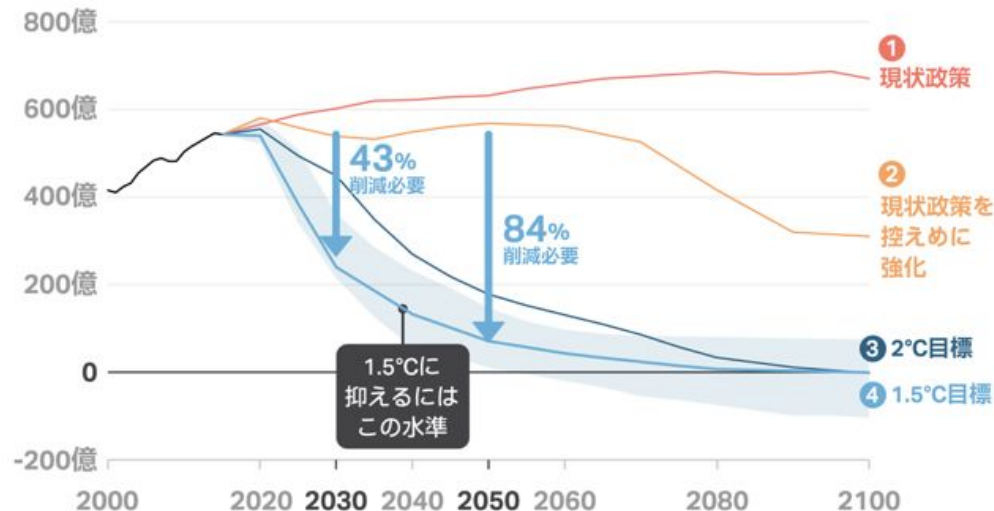
1.5°C目標整合に求められる世界全体の削減  
(2019年比)

	温室効果ガス全体	CO <sub>2</sub>
2030	-43%	-48%
2035	-60%	-65%
2040	-69%	-80%
2050	-84%	-99%

出典：IPCC AR6 Synthesis report SPM P21より作成

## 温室効果ガスの削減シナリオ

年間排出量 (CO<sub>2</sub>換算)  
単位：トン



出典：IPCC第6次報告書より、Climate Integrate「[気候変動の今](#)」



## 2024年は重要な意思決定のタイミング

---

- エネルギーのあり方決める「**第7次エネルギー基本計画**」を策定中
- 次の温室効果ガス排出削減目標を定める「**NDC**」を策定中
- それらを取りまとめた「**GX2040ビジョン**」を取りまとめ中

政府が（私たちからよく見えないところで）進める政策が日本のこれから、世界のこれからを決めていこうとしている。

**重要な期間：2024年9月-2025年1月ぐらいまで**

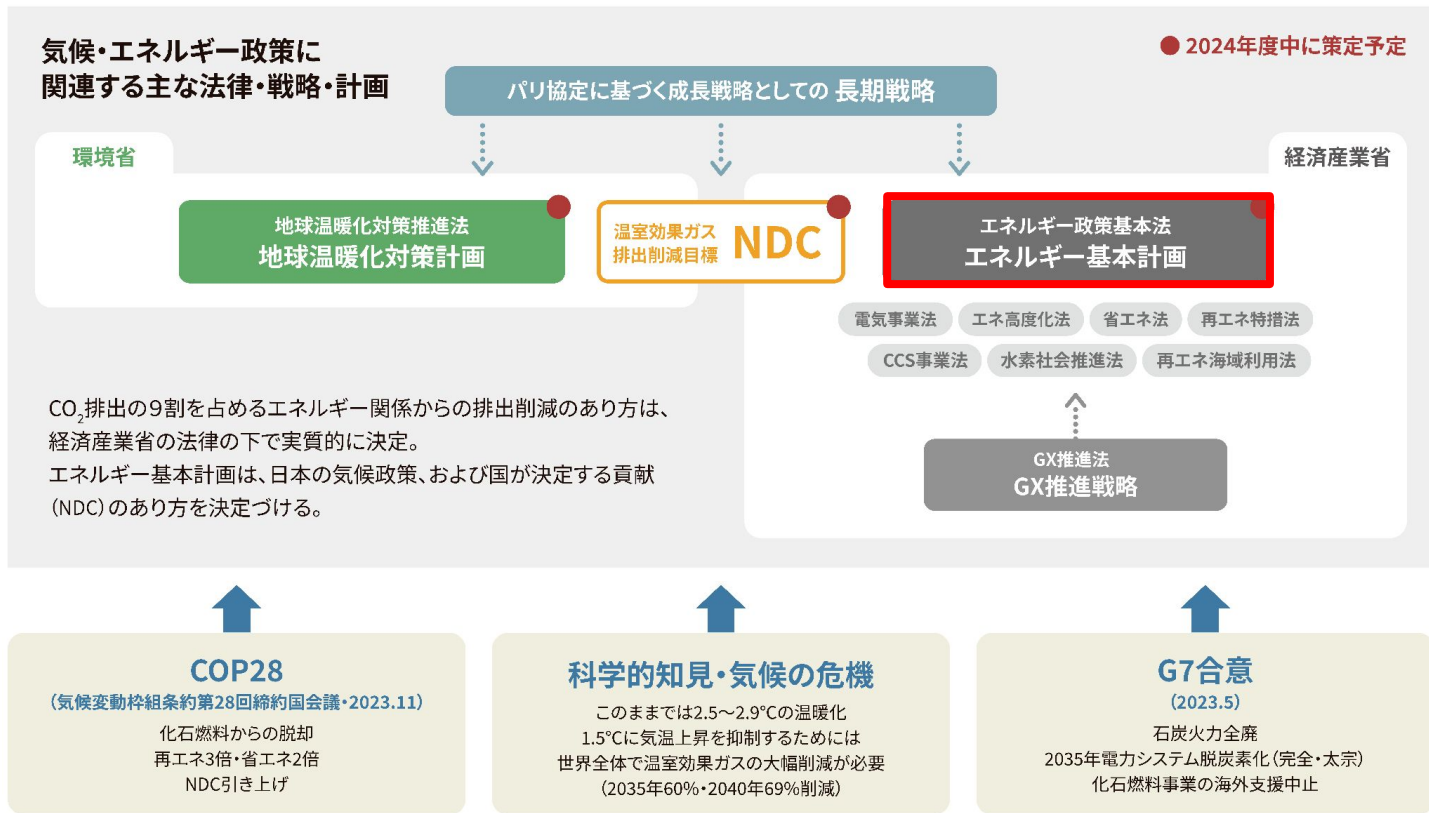
このままでは、変わらない今までのままでやり過ごすことになる？

私たちはそこにどう関われるのか？

# エネルギー基本計画の 策定プロセス



図1 日本の気候・エネルギー政策の枠組み

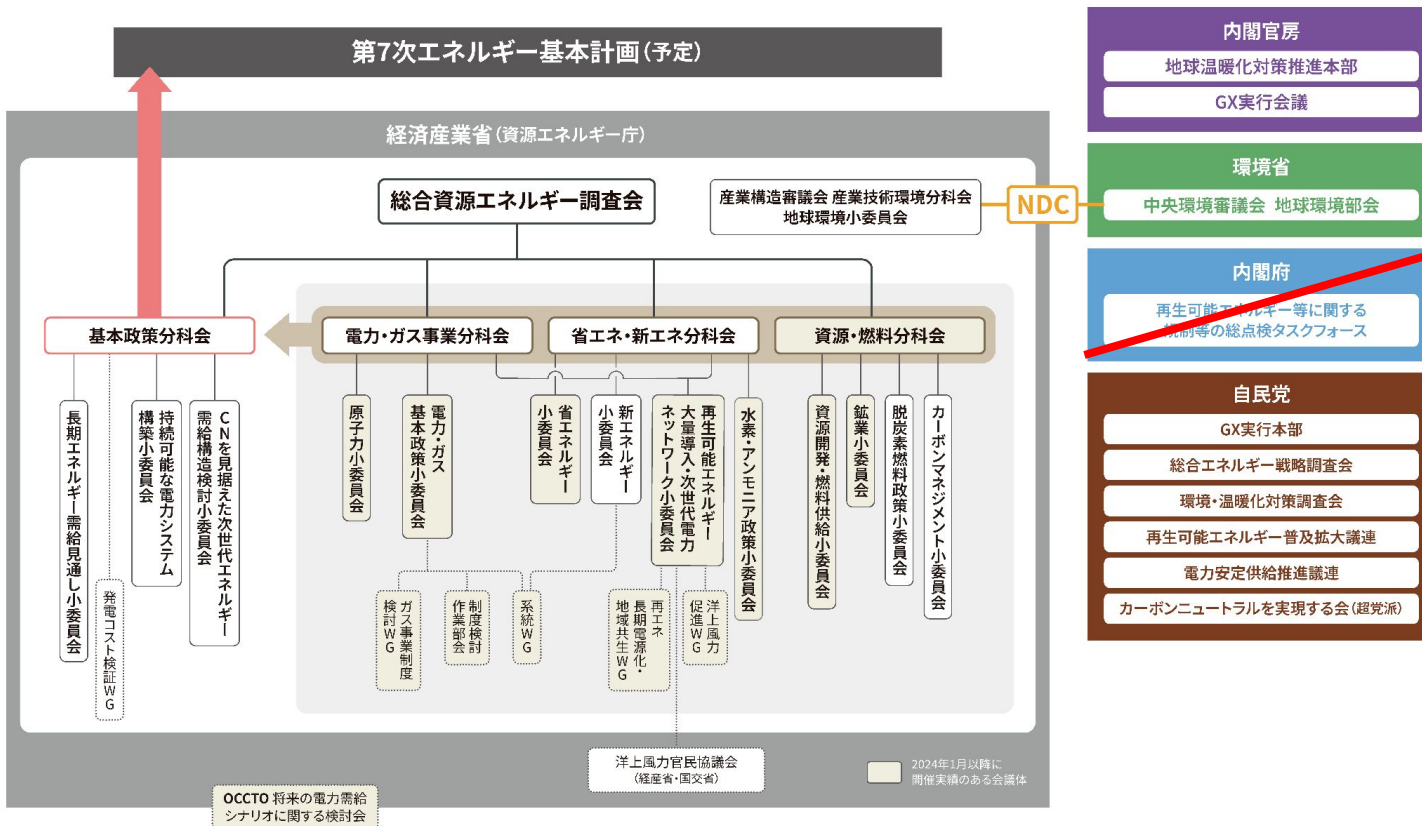


国際合意や科学からの要請

Climate Integrate 作成

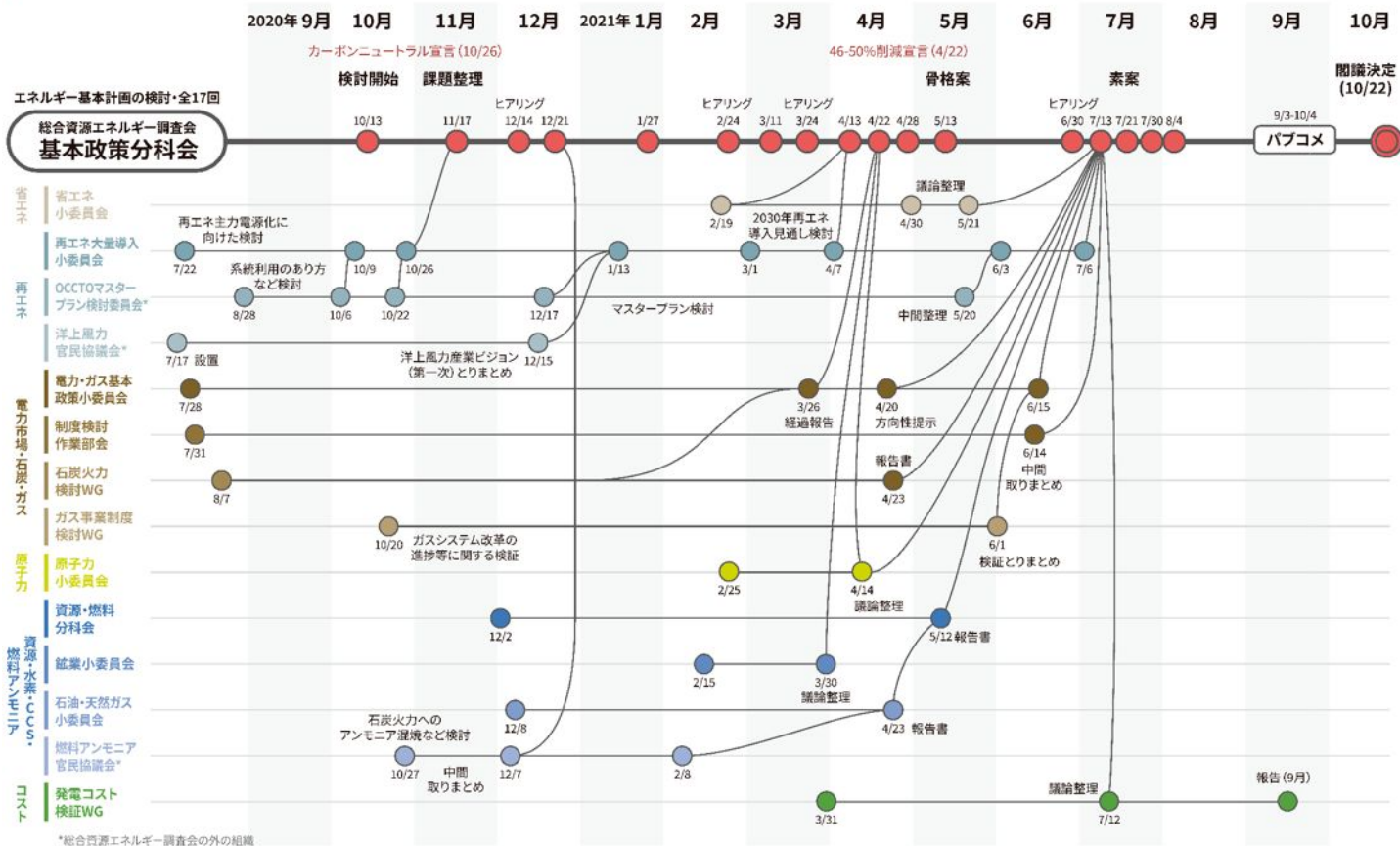


図3 エネルギー基本計画の審議構造（第7次エネルギー基本計画策定見通し：2024.4現在）



Climate Integrate 作成

図4 第6次エネルギー基本計画の検討経緯（2020-2021）



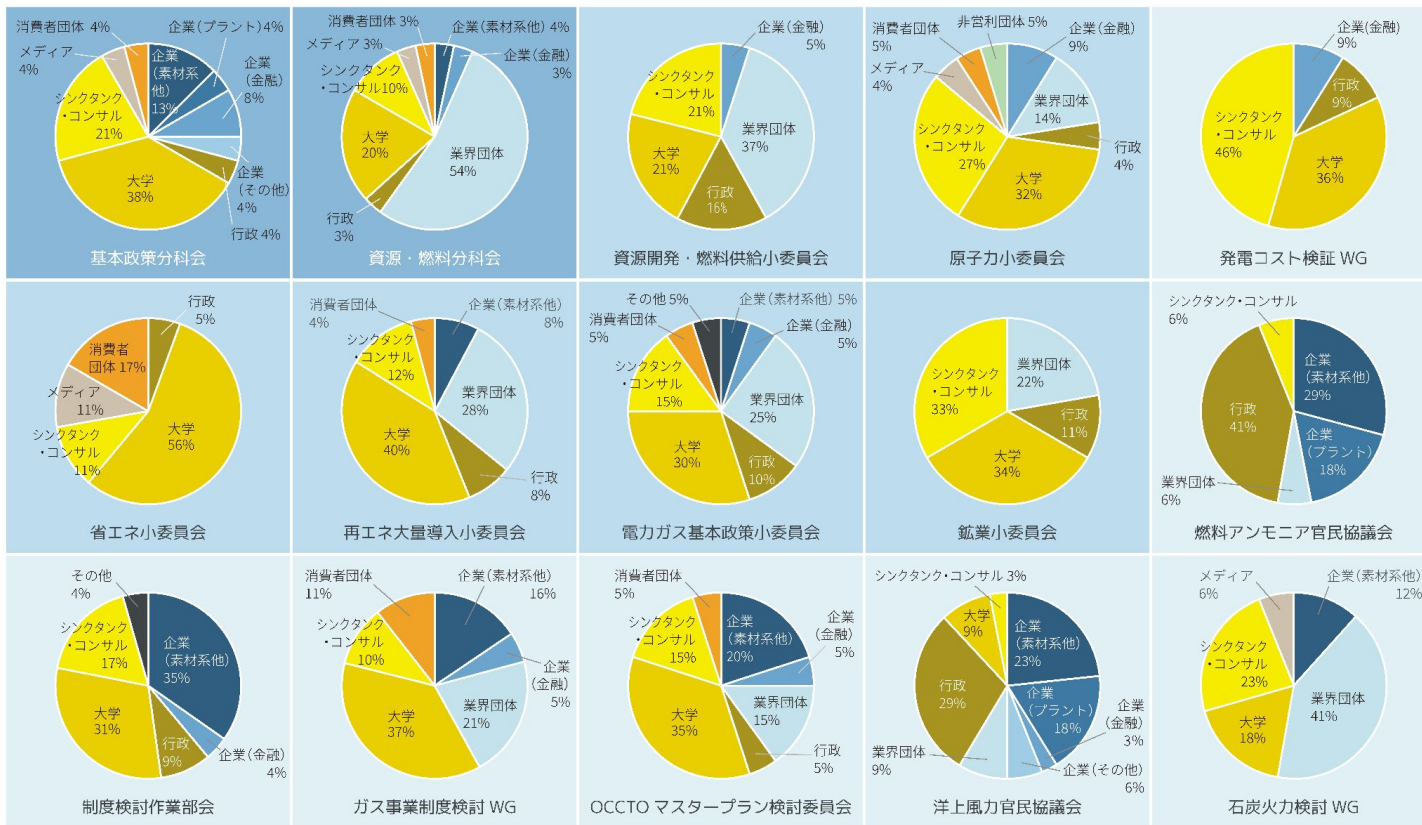
Climate Integrate作成

# 各種審議会の委員構成は政府の審議会運営指針と不整合

## 審議会等の運営に関する指針（要旨）

- **委員構成**：意見、学識経験等が公正かつ均衡の取れた構成であること
- **委員選任**：府省出身者の任命は厳に抑制。特に審議会等の所管府省出身者は、必要な場合を除き選任しない
- **高齢者**：職責を十分果たしうるよう、原則として選任しない
- **兼職**：一の者が就任できる委員総数は原則として最高3、特段の事情がある場合でも4を上限
- **任期**：原則2年、再任を妨げないが、10年を超えて継続任命しない
- **女性委員**：府省編成時から約10年以内に30%に高めるよう努める

図5 エネルギー基本計画の策定にかかる主要会議体の委員構成（第6次-第7次）（業種）

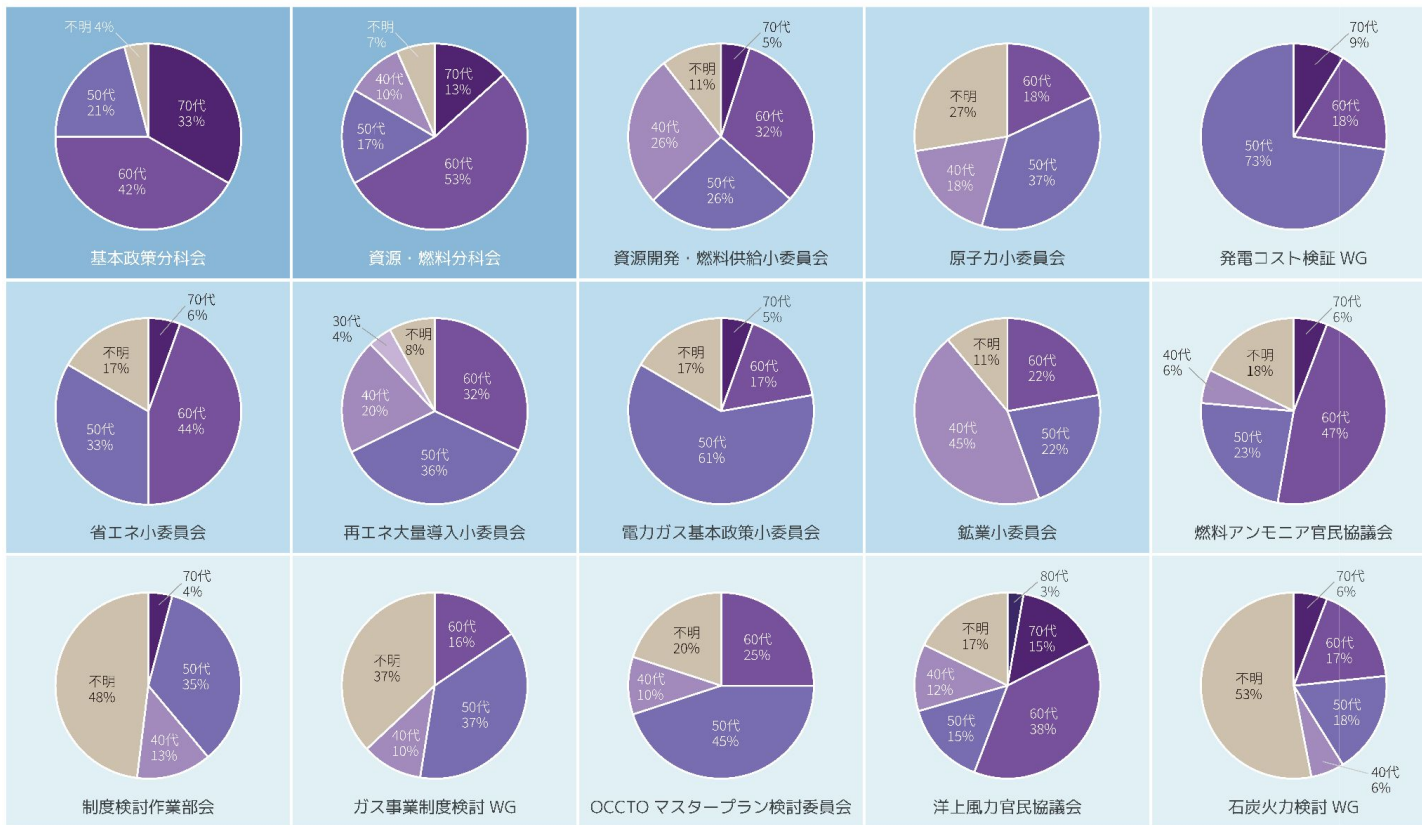


※「企業（素材系他）」は「企業（素材系、資源・エネルギー供給、運輸）」とする。また、グラフの背景色は、分科会、小委員会、WG 等の分類ごとに区別している。

Climate Integrate 作成



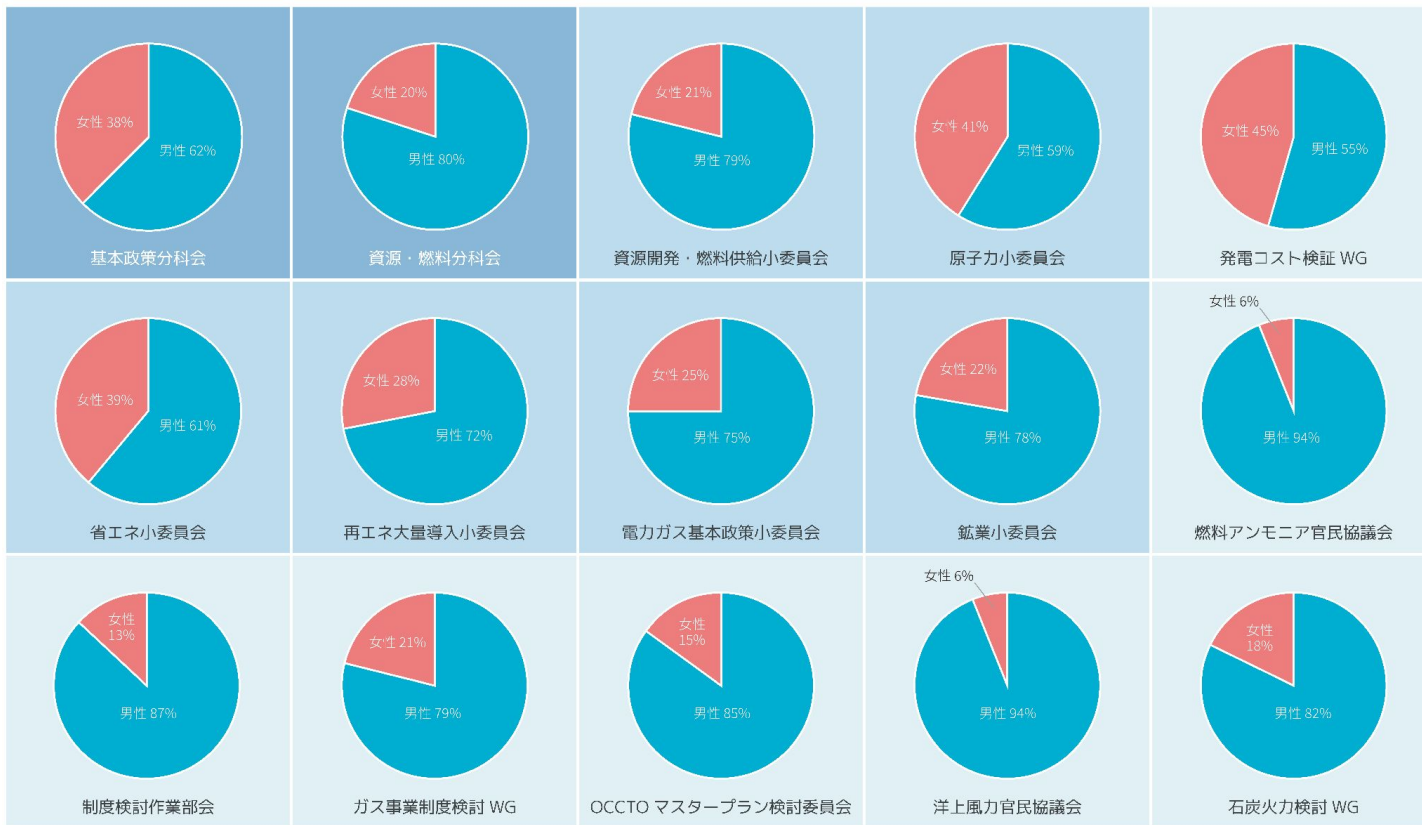
図6 エネルギー基本計画の策定にかかる主要会議体の委員構成（第6次-第7次）（年齢）



※グラフの背景色は、分科会、小委員会、WG 等の分類ごとに区別している。

Climate Integrate 作成

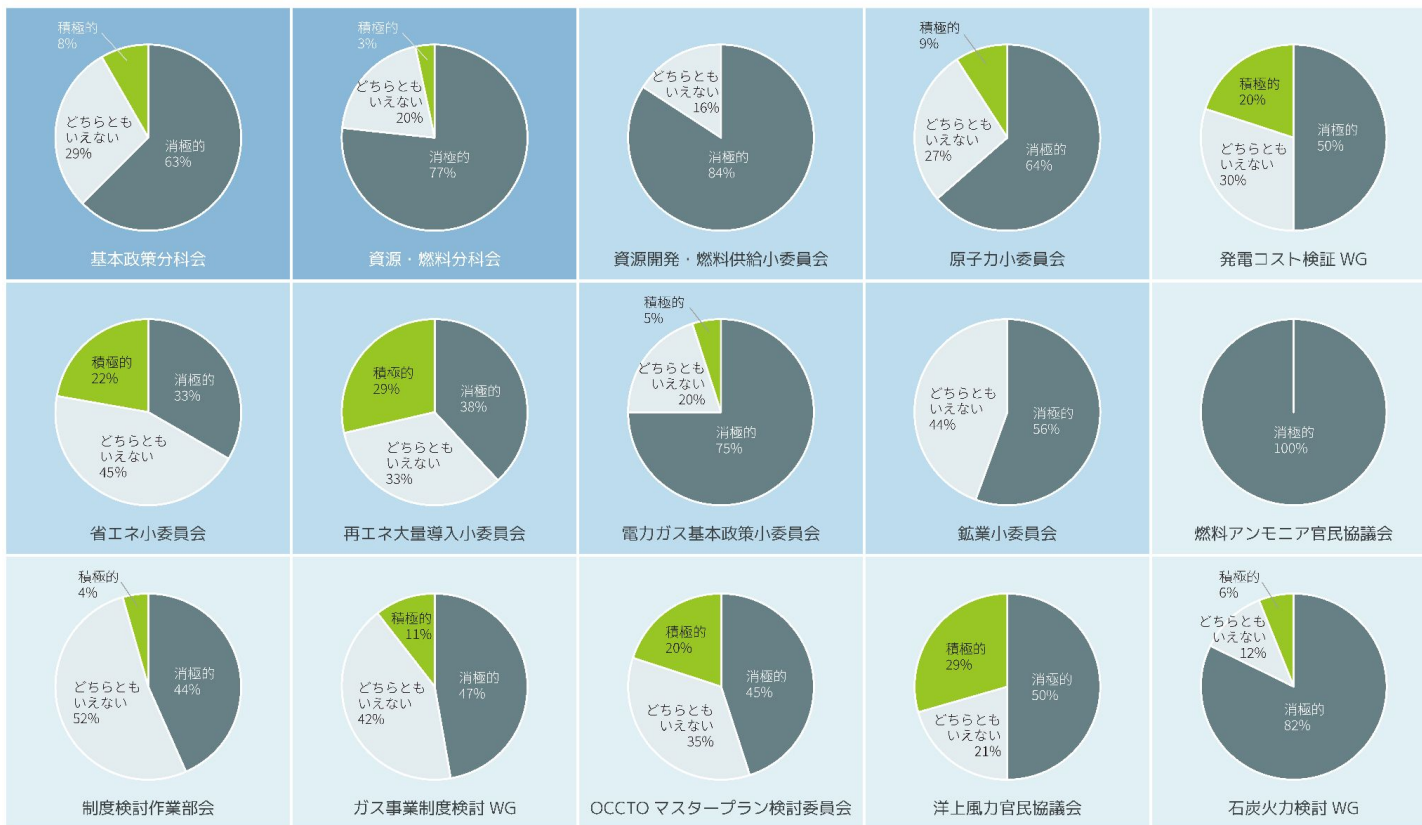
図7 エネルギー基本計画の策定にかかる主要会議体の委員構成（第6次-第7次）（性別）



※グラフの背景色は、分科会、小委員会、WG 等の分類ごとに区別している。

Climate Integrate 作成

図8 エネルギー基本計画策定にかかる主要会議体の委員構成（スタンス）



※化石燃料を中心にした既存システムからの脱却に対する姿勢を独自の判断基準に基づき評価した。また、グラフの背景色は、分科会、小委員会、WG 等の分類ごとに区別している。

Climate Integrate 作成

## 第7次エネ基の審議のなかで、政策決定プロセス「決め方問題」がトピックに

### 決め方問題を「エネ基」の論点とすることには一定の成果

- 環境大臣・経済産業大臣に国会質問
- 審議会委員が決め方問題を提起（村上）
- 有識者が「決め方問題」を提起（高村・三宅・橘川）
- 各種団体が提言に「決め方問題」を盛り込む（JCLP、日本若者協議会など）
- 「決め方問題」をテーマにしたイベント・ウェビナー等の開催
- 各種団体が各方面で「決め方問題」を話題（REI、350など）
- メディアが多方面でピックアップ（朝日・共同・東京、地方紙、Japan Times、ハフポスト、オルタナほか）



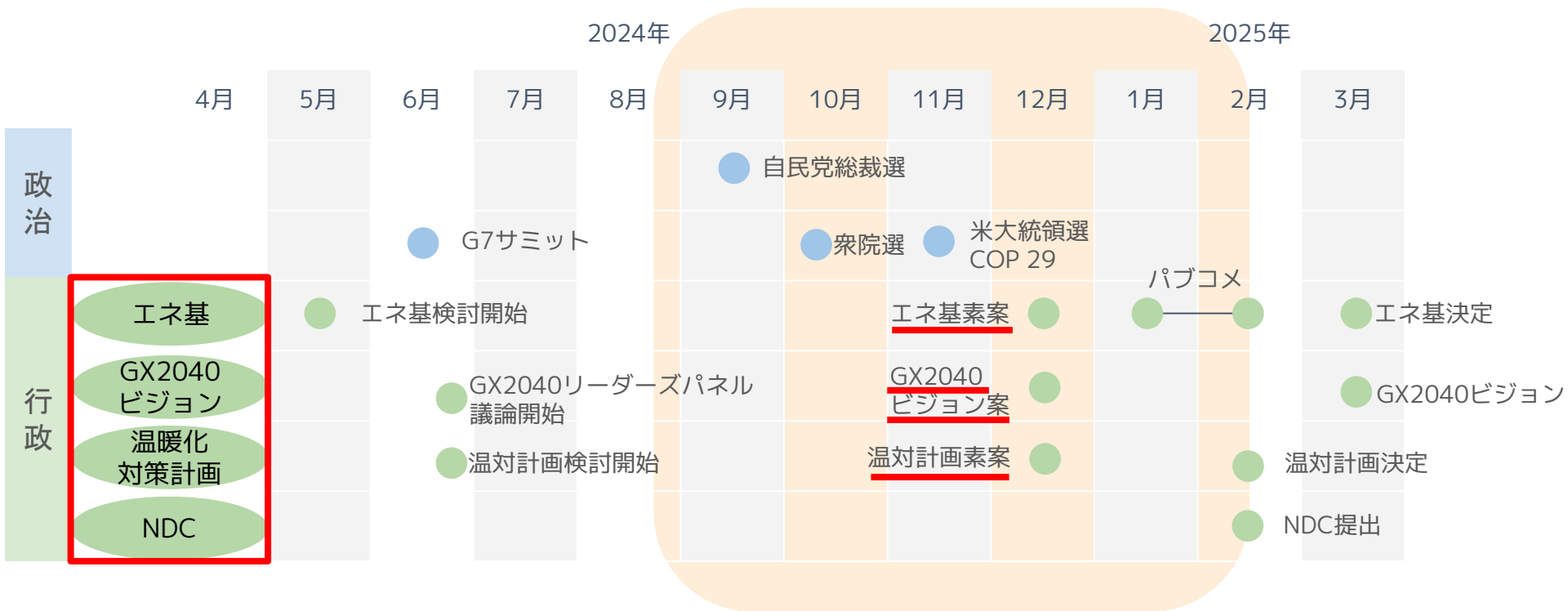
# エネ基をめぐる政策決定プロセス：第6次策定時と大きくは変化なし

	第6次エネ基策定時	第7次エネ基策定時
検討の主導権	経産省（エネ庁）＋官邸主導	経産省（エネ庁）主導
主たる検討の場	総合資源エネルギー調査会 再エネ規制総点検タスクフォース	総合資源エネルギー調査会
GX推進の枠組み	なし	GX実行会議 GXリーダーズパネル
審議会委員の構成	偏りあり (年代・性別・業種・スタンス)	改善なし
需要家・将来世代の議論参画	極めて限定的 (再エネ小委でのJCLPへの ヒアリングなど)	わずかに前進 (基本政策分科会でのJCLP・ 若者団体へのヒアリング)
国民との対話プロセス	パブコメ・意見箱のみ	改善なし

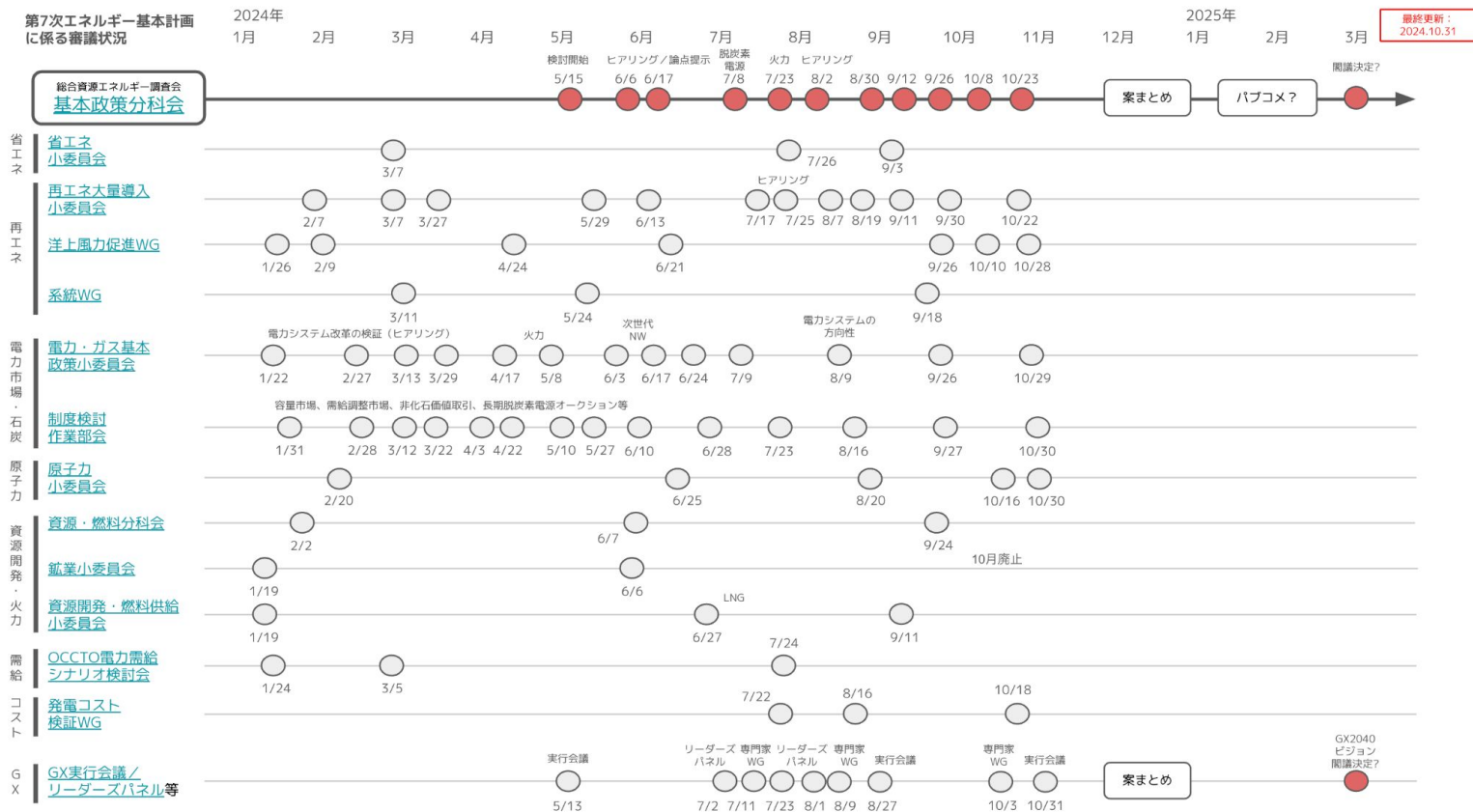
# 第7次エネルギー基本計画 の見通し



# 年末に向けてエネ基・GXビジョンなどのとりまとめ段階へ



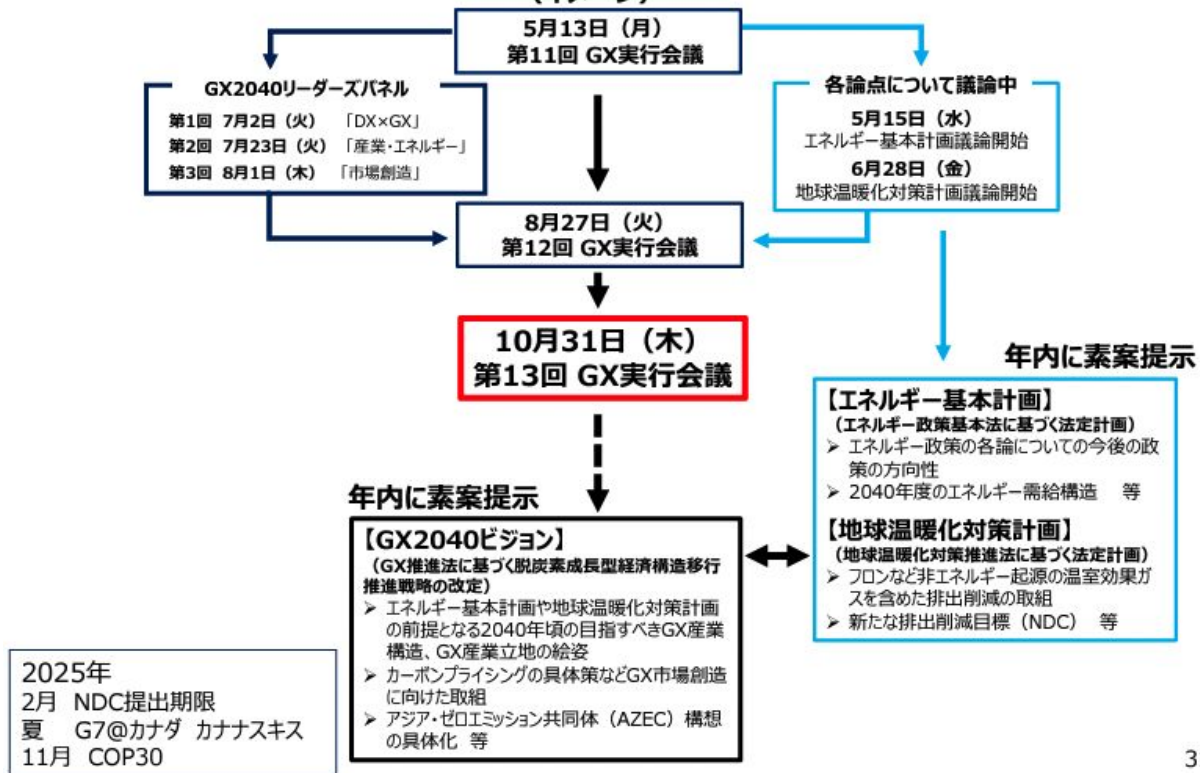
# 年末に向けてエネ基・GXビジョンなどのとりまとめ段階へ





# 年末に向けてエネ基・GXビジョンなどのとりまとめ段階へ

## GX2040ビジョン、エネルギー基本計画、地球温暖化対策計画に向けた検討 (イメージ)



出典：GX実行会議（第13回）資料1

# 再エネも、原子力も。再エネ比率目標引き上げの議論はない。

## 総合資源エネルギー調査会の議論で概ね共通認識となったポイント

### 3. 将来の電力需要・脱炭素電源

- 今後、GXの進展に伴う電化や、生成AIの普及拡大に伴うデータセンターや半導体などの増加により、**大幅な省エネ効果を見込んだとしても、将来の電力需要については増加する可能性が高い。**
- **将来の電力需要の増加**に対しては、**脱炭素電源を拡大することで対応する必要がある**。その際、再エネが原子力かといった択一的な議論ではなく、**再エネと原子力がともに必要**。
- 十分な脱炭素電源が確保できなかったために、**国内での投資機会を失い、あるいは経済成長が阻害され、産業競争力が落ちるようなことは決して起こしてはならない**。
- 特に、DXやGXの進展に伴う電力需要増加が見込まれる中、**必要な脱炭素電源を確保できるかが日本の国際競争力を左右しかねない状況**。脱炭素電源が不足するが故に、データセンターや半導体工場などの新たな設備投資が行われないうちの事態は避けるべき。
- 化石燃料輸入に伴う貿易赤字に加え、**デジタル収支の悪化も近年拡大**。貿易収支の改善や経済安全保障の観点からも、**国内で必要なデータセンター等が整備される必要がある**。
- 将来の電力需要の増加に対しては、**脱炭素電源を拡大することで対応する必要がある**。データセンターや半導体工場など脱炭素電源・系統設備の建設には**必要なリードタイムに大きな差**があることを踏まえ、**将来必要となる脱炭素電源や系統設備への投資が行われるよう、政府による信用補完など事業環境整備にスピード感を持って対応する必要がある**。
- **小売電気事業者**に供給責任をしっかりと果たすことを求めるとともに、大規模需要家の脱炭素電源ニーズ等を踏まえたサービスの提供の障壁となっているような制度については見直しを検討することが必要。

# 現実的なトランジションが必要として、石炭・ガス火力を維持。

## 総合資源エネルギー調査会の議論で概ね共通認識となったポイント

### 4. 火力発電・化石燃料

- ▶ 2050年ネットゼロを目指す中でも、自然災害等への対応を含め、**エネルギー安定供給の確保は最優先**。脱炭素化に向けて、**化石燃料を突然ゼロにすることは難しく、現実的なトランジションが必要**。
- ▶ **自家発電を含め、非効率石炭火力のフェーズアウトにはしっかり取り組んでいくべき**。他方で、石炭火力からの転換のため、**LNGやガス火力は脱炭素への移行期において必要**。
- ▶ 価格高騰や供給途絶などのリスクに備え、必要な**LNGの長期契約を官民一体となって確保する必要**。
- ▶ 火力の脱炭素化に向けた**水素・アンモニア、CCS等の活用は、技術開発やコストなどを踏まえた対応が必要**。その上で、電源の脱炭素化に向けては事業者の予見可能性を確保しつつ、政策的な支援が必要。

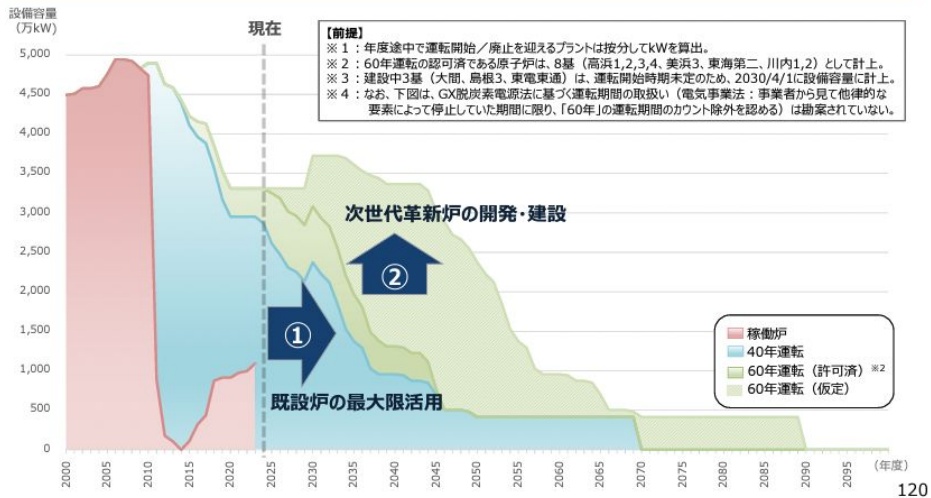
### 5. 省エネ・非化石転換、重要鉱物等

- ▶ 2050年ネットゼロに向けて、S+3Eの原則の下、**電源の脱炭素化と電化を推進**していくべき。
- ▶ 資源の大宗を海外に依存し、国産資源に乏しい我が国では、**徹底した省エネの重要性は不変**。
- ▶ その上で、2050年ネットゼロ実現に向けては、省エネに加え、**電化や非化石転換の割合も大きくなる**ため、今後は、**CO2をどれだけ削減できるかという観点**を踏まえつつ、**コスト最適な手段を用いて取組を強化していく必要**。
- ▶ 鉄鋼や化学等の産業部門や商用車などの運輸部門などの**脱炭素化が難しい分野（hard to abate）や発電等の分野において、水素等、CCUSなどの活用を進めていく必要**がある。
- ▶ **重要鉱物のサプライチェーンについて、特定国に大きく依存する状況はエネルギー安全保障上、問題である**。重要鉱物の確保に向けては、政府支援や資源外交に加え、リサイクルを推進していく必要。

29

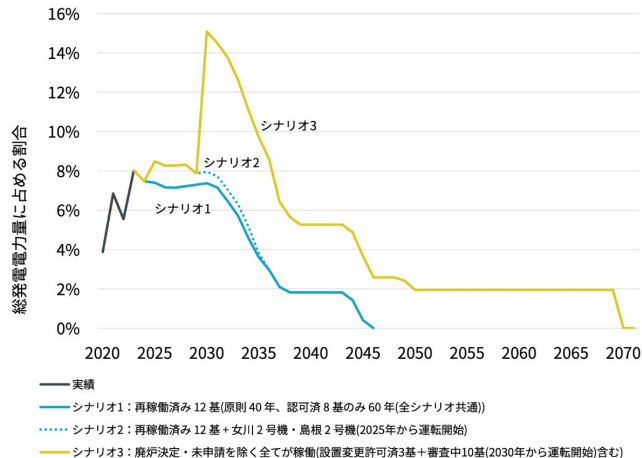
# 再び原発推進へ。しかし、脱炭素への貢献は期待できない。

政府は原子力を最大限活用する方向だが（左図）、それでも発電割合7~15%をピークに急速に減少する見込み（右図）。



出典：原子力小委員会（第39回）事務局資料

## 総発電電力量に占める原子力発電割合の見通し (Climate Integrate推計)



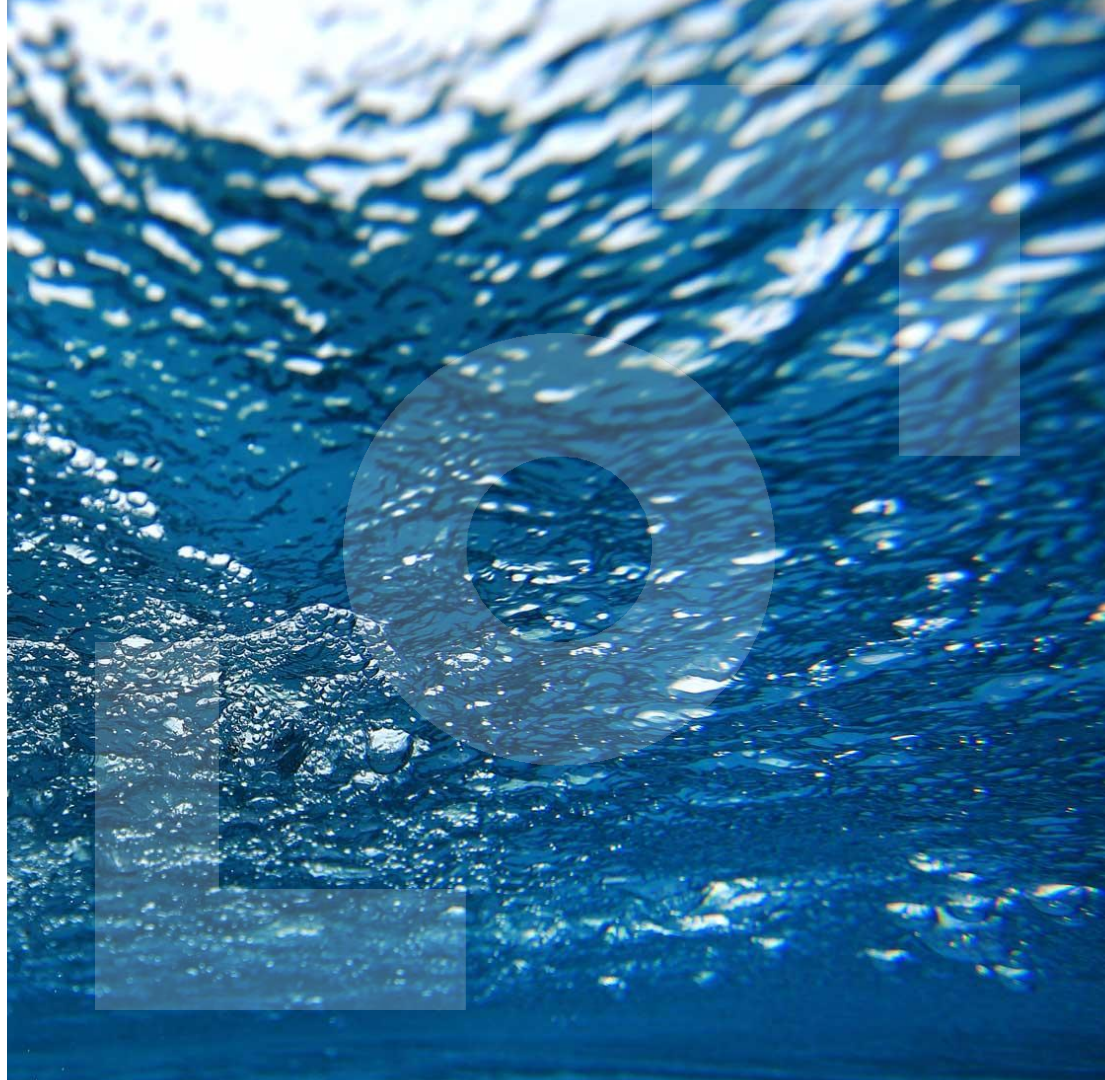
※ 以下の想定に基づき Climate Integrate が推計

- ・ 運転期間：原則 40年、延長認可済 8基（2024年7月現在）は 60年。
- ・ 設備利用率：運転開始 40年まで 75%、50年まで 65%、60年まで 55%。
- ・ 総発電電力量：2022年度実績から 2030年度（政府見通し 9,340億 kWh）まで均一に減少と想定。2030年以降一定。

出典：総合エネルギー統計、資源エネルギー庁資料等を基に Climate Integrate 作成、協力：歌川学（産業技術総合研究所）



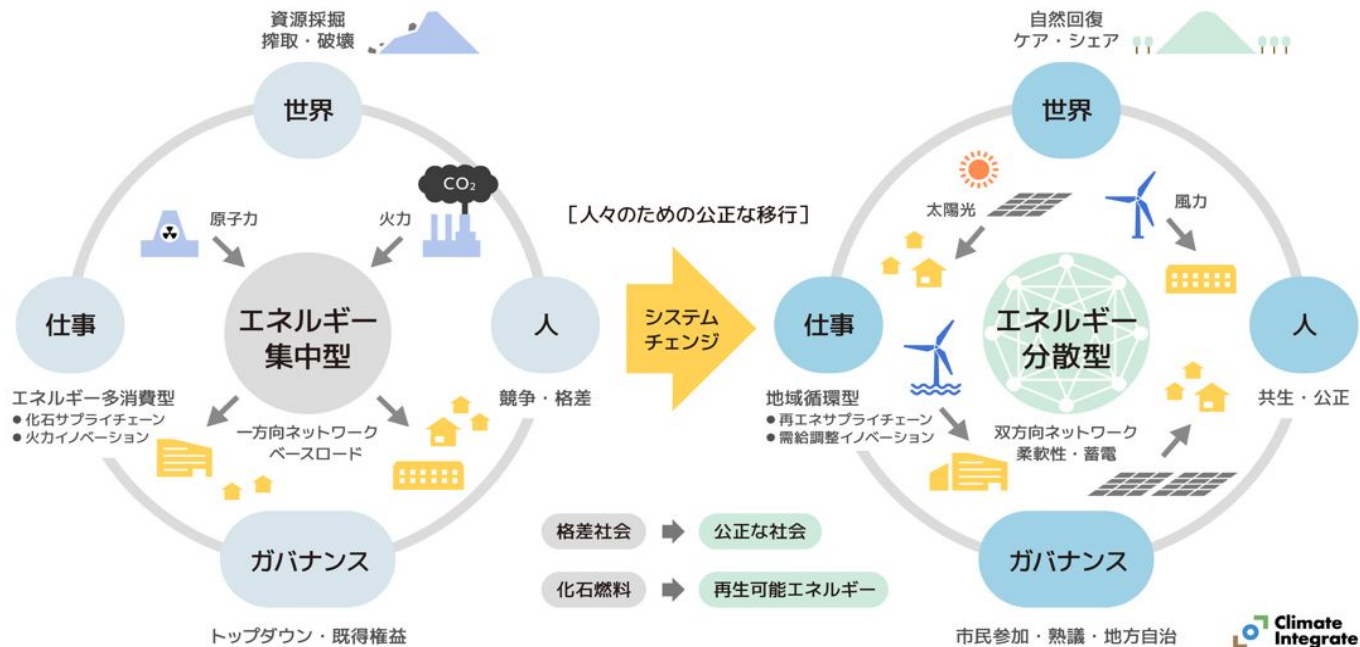
わたしたちにできること



# 「システムチェンジ」で新しい経済社会くらしを作る

～これから手がけることは「こまめな省エネ」を超えた「新しい仕組みづくり」

これからは、大規模な原子力発電や火力発電を中心とする「エネルギー集中型」の仕組みから、太陽光や風力などの再生可能エネルギーを中心とする「エネルギー分散型」への社会への転換の時代へ。すなわち、公正な社会の実現に向けた、世界との関係・仕事のあり方・ものごとの決め方（ガバナンス）・人の価値観を含む「システムチェンジ」を実現すること。



出典：Climate Integrate 「2035年電力システム脱炭素化への政策転換」

# アプローチ1 国の「政策」を1.5°C目標と整合させる

～「仕組み」を変えることは「政策」を変えること。政治や政策にアンテナを張ることが重要

## 国の法律・戦略・計画を強化・改善する

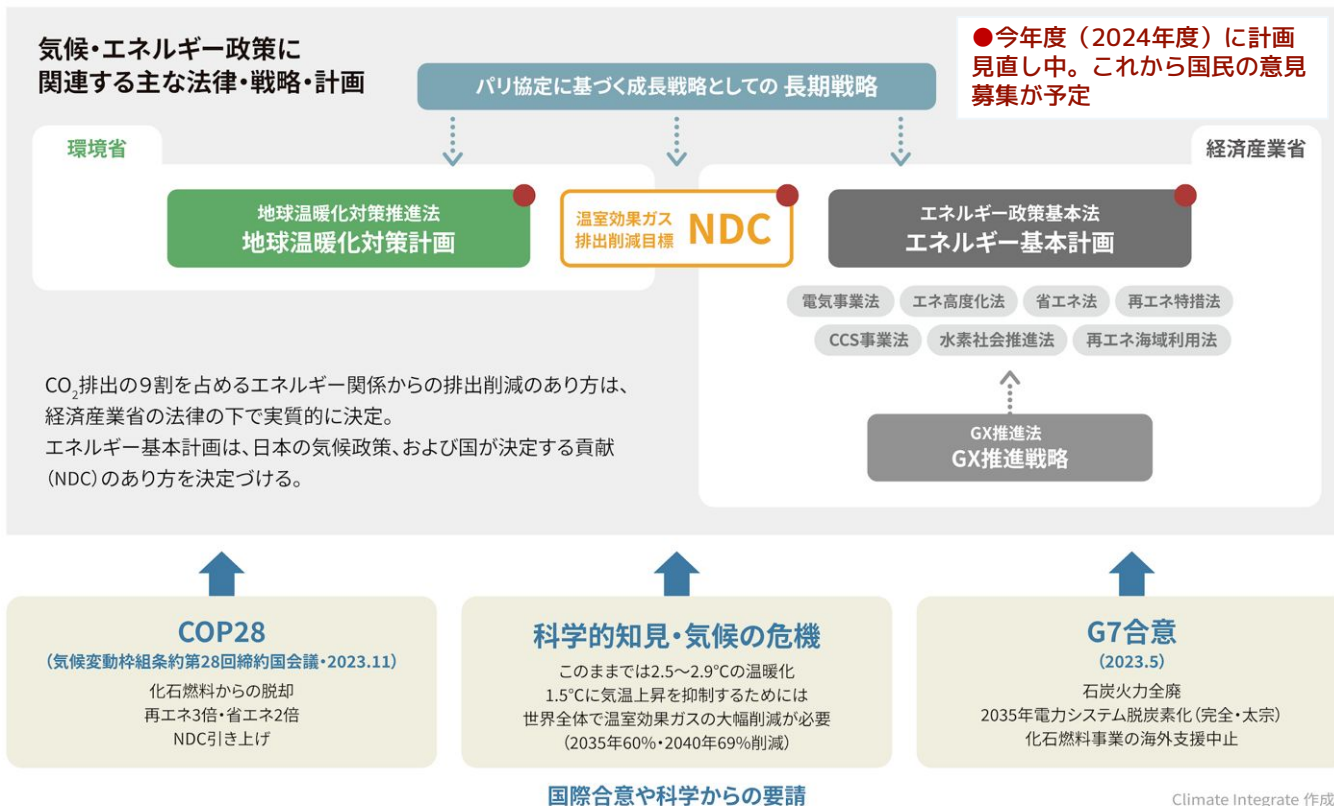
- ・ 目標設定
- ・ 政策や措置
- ・ 見直し規定
- ・ 決め方
- ・ 市民参加

## 私たちにできること

- ・ 意見を出す
- ・ 政府・政治家・企業と対話し、提案する

### 「政策」とは？

国・自治体が公共的な問題解決のために講じる方針・方向性・手段。政策は、法律や条例・戦略・計画などで定められる



## アプローチ2 地方自治体の「政策」を1.5°C目標と整合させる

～各自治体が地域の課題に取り組む中でカーボンニュートラルの施策を推進する

### 地方自治体の条例・戦略・計画でカーボンニュートラルを推進する

地方自治体による気候変動対策は、市民への省エネ呼びかけなどの「普及啓発」や、部分的な「補助金」の実施などにとどまる。これからは、子育てや教育、健康・医療・福祉、防災、地域交通、地域経済、人口減少などの地域課題の解決と持続可能なまちづくりの中でカーボンニュートラルを推進することが求められる。

### 根本的な変革が必要な領域

以下①-④は、いずれも化石燃料の利用で成り立っている。地域から、それぞれの分野で脱炭素型のインフラへ組み替えていくことが必要。

根本的な変革が必要な領域

カーボンニュートラル  
意欲的な温室効果ガス排出削減目標

#### ① エネルギー

化石燃料 → 再生可能エネルギー

#### ② 住宅・建築物

(工場・オフィス、病院、宿、店舗、公共施設等)

断熱・高効率の設備や機器

#### まちづくり・くらし・仕事

地域課題解決・地域経済再生  
自然の保全・再生 (海・森・里山)

#### ③ 運輸

公共交通・徒歩・EV・物流効率化

#### ④ 食・生産消費

持続可能な農林水産業、地産地消・菜食・流通

### 関連する施策は？

自治体により体系は異なるが、幅広い仕組みが関連する。

- ・総合計画・都市計画・公共施設計画
- ・環境条例や脱炭素条例
- ・地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）
- ・地域エネルギー戦略
- ・脱炭素先行地域、など



# アプローチ3 地域で「仕組み」づくりに参画する

## ～自分の地域で、一人ひとりがシステムチェンジの担い手になる

### 始め方・取り組み方

一人一人の取り組みには、さまざまな場所・テーマ・方法があるが、**重要なのは、「個人でできる省エネ」を超えて、「仕組み」を変えることにつながる取り組みを探ること。**

#### 始め方の例

- ✓ 学ぶ（環境団体などの情報を参考に）
- ✓ 地域で取り組む団体・人を探す
- ✓ アプローチを探る（自分にあった領域・場所・仲間等）

#### 取り組み方の例

- ✓ 仲間と  
話題にする（関心を示す）  
フォロー・応援・賛同・署名する（共感を示す）
- ✓ 地域で  
自治体の取り組みを調べ、現状を知る（HPなどで）  
自治体や地方議会議員に問い合わせ、対策強化を求める  
自治体の計画策定の際に意見を出す  
地方議会や審議会を傍聴する（オンラインでも可）  
自治体の審議会の公募委員に応募する  
意欲的な地方議会の候補者・現役議員を応援する  
地方議会議員になる
- ✓ 会社で  
関心のある企業の取り組みを調べ、対策強化を求める  
同僚と一緒に会社の対策強化に挑戦する



出典：『気候変動パーフェクトガイド』

石炭火力を止める運動などに関わることは、急には難しいかもしれない。けれど、リサイクルやエアコンの温度調節などの個人の行動だけでは効果は限定的で、問題解決には全く足りない。それぞれの地域や職場で自分なりの関わり方を見つけ、仲間を作って一緒に実践したり、自治体や企業の行動や対策を変えることにつながることは、どこでも誰でも始められる。



# 知る：環境団体・シンクタンク等のレポート・セミナーで情報収集



## 気候・エネルギー政策セミナー エネルギー基本計画の 策定に向けた論点



2024年7月25日(木) 10:00~12:30  
オンライン配信 | 無料



## CAN-Japan主催 連続ウェビナー 1.5°C へのアクション

急速に深刻化している気候危機に対し、日本の気候変動対策は十分と言えるでしょうか。日本での取り組みの現状や課題、1.5°C目標達成のためにできることについて、4つのテーマに分けてご紹介します。

参加無料

2024年4月~10月 (全4回開催)

連載コラム 自然エネルギー

2024年7月19日

シリーズ「エネルギー基本計画の論点」(第3回)  
日本の排出削減は「オントラック」なのか

大野 輝之 自然エネルギー財団 常務理事

印刷する

in English

特設ページ|エネルギー基本計画の論点

### 日本はオントラック、他の欧米諸国はディレール？

今回のエネルギー基本計画改正の議論を開始した5月15日の基本政策分科会で、政府が説明した資料は、その冒頭に日本の排出削減が2050年ネットゼロにむけた頑固な減少傾向、オントラックを継続していると記載している。更に、当日の説明で経済産業省の事務局長は、他の欧米諸国、EUについて、「日本に比しますと、CO<sub>2</sub>の削減というところについては、かなりの差離れといえますが、ディレールしている状況というのうかがえます。」と説明している。

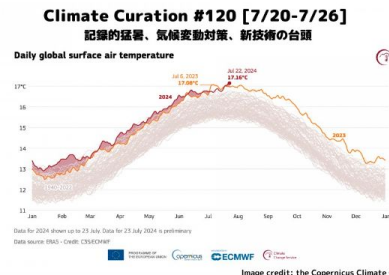
日本の排出削減がオントラックで他の先進諸国はオントラックではない、という説明は「地球温暖化対策計画」の改定を議論する経済産業省・環境省の合同会議でも行われている。

排出削減が本当に順調に進んでいるなら、削減対策を強化しなければならないという議論につながりづら。エネルギー基本計画、地球温暖化対策計画改定の冒頭に政府が示した「オントラック」という認識が正しいものなのかどうかは、今後の政策議論に大きく影響する。実際、合同会議に経済団体から参加している委員は、国の説明を受けて「オントラックにあり先進国の中で優等生と言える」と発言している。

### 記録的猛暑、気候変動対策、新技術の台頭

- [1] 2024年7月、1日の世界平均気温が
- [3] 気候変動に関するカマラ・ハリス氏の見解
- [9] \* 🌞 盛り上がりを見せるペロブスカイト太陽電池

市川裕康 2024.07.27 誰でも



# 知る：環境団体・シンクタンク等のSNSをフォロー



**Climate Integrate - 気候を保護するために**  
@ClimateInteg

気候を守るための政策転換と行動の加速をめざす独立系シンクタンク。調査分析・エンゲージメント・コミュニケーションを通じて科学と政治と社会をつなぎ、脱炭素への取り組みを支援します。An independent climate policy think tank based in Japan.

[Translate bio](#)  
[climateintegrate.org](https://climateintegrate.org) Joined January 2022


0 Following 2,282 Followers

Followed by にしだよしぞう, Media is Hope, and 19 others you follow

**Posts**    Replies    Media

**Climate Integrate - 気候を保護するために** @ClimateInteg · Oct 24 ...  
基本政策分科会 (10/23) はエネルギーに関する国際動向について議論。IEA が先日発行のエネルギー市場年次報告書 (WEO) について説明。事務局が紹介した海外で進む次世代地熱の例に対し、委員からは、ポテンシャルがあるのに増えない日本での地熱への取組の遅れが指摘された。  
[enecho.meti.go.jp/committee/coun...](https://enecho.meti.go.jp/committee/coun...)

2    5    297



**Seita Emori (気候変動の解説のおじさん 江守正多)**  
@seitaemori Follows you

気候科学者/東京大学未来ビジョン研究センター教授/大学院総合文化研究科兼務(学生募集中心)/IPCC第5次・第6次評価報告書主執筆者/Yahoo!ニュースエキスパートオーサー/気候変動問題の科学と社会の関係に関心があります/ポケモンも好き/このアカウントは主に情報発信用/ご連絡は江守研ウェブサイトのお問い合わせからどうぞ

[Translate bio](#)  
📍 日本 東京/茨城 [webpark2354.sakura.ne.jp](https://webpark2354.sakura.ne.jp) 📅 Joined April 2024


262 Following 3,413 Followers

Followed by にしだよしぞう, with Planet編集部, and 25 others you follow

**Posts**    Replies    Media

**Pinned**  
**Seita Emori (気候変動の解説のおじさん 江守正多)** @seitaemori · Sep 30 ...  
「日本人は原子力と縁を切れるか」  
#岩波世界 から全文web公開。

原発についての自分の意見を長めに書いてみました。  
右からも左からも突っ込んで頂けます。笑  
ポジショントークでなく、個人の価値観を明示した原発の議論が深まるというかなと思っています。



**Media is Hope** ✓  
@MediaisHope1

Media is Hope \メディアとつくる私たちの未来 / メディアの気候変動報道を後押しし、メディアと共に気候変動解決に貢献するチームです 🇯🇵 Xでは、気候変動に関するおすすめ記事を紹介しています 🌞 実は、「視聴する」「読む」ことがメディアを応援することに繋がっていきます 🌞 気になる記事、ぜひ読んでみてください 🌞

[View more](#)  
[media-is-hope.org](https://media-is-hope.org) 📅 Joined February 2022

224 Following 540 Followers

Followed by にしだよしぞう, Seita Emori (気候変動の解説のおじさん 江守正多), and 10 others you follow

**Posts**    Replies    Highlights    Media

**Pinned**  
**Media is Hope** ✓ @MediaisHope1 · Oct 15 ...  
🇯🇵 気候変動報道 応援キャンペーン 🇯🇵 /

【むげせ！いいね 🇯🇵 1000超え】

■緊急報告！再エネ革命 風車が導く奇跡の物語 [youtube.com/live/H1\\_GdKcRW...](https://youtube.com/live/H1_GdKcRW...)

# つながる：地域の気候関連コミュニティやイベントへの参加

 ゼロエミッションを実現する会

カレンダー マップ 参加する  





# つながる：地域の気候関連コミュニティやイベントへの参加



「ゼロエミッションを実現する会」  
のはじめかた

まず「Facebookグループ」で、情報共有や意見交換をしながら、定期的なオリエンテーションや相談会に参加してみてください。はじめての方でも陳情・請願などのアクションができるよう、メッセージングアプリ「slack」で、チーム作りやアクションの方法などについて、全国の仲間同士でサポートしあっています。

アクションに興味がある



Facebookで情報交換

日本中の仲間と公式Facebookで情報共有や意見交換をしています。

Facebookに参加する →

活動の詳細を知りたい



zoomでミーティング

- 毎週土曜あさ10:00から定例相談会
- 毎週土曜あさ9:00からオリエンテーション
- 個別相談会。希望者は事務局（鈴木）まで。（お問合わせフォームから）

お問合わせフォーム →

自分の地域でアクション



slackでコミュニティ形成

- 自治体ごとにアクション相談会
- 自治体や自治体議員との意見交換や提案、審議会・議会の傍聴
- 自治体や議会へ要望書、請願書や陳情書の提出
- セミナー、イベント、勉強会、読書会の開催や自治体の関連イベントへの参加

Slackに参加する →

「エネルギー」をテーマに、豪華講師・ゲスト・仲間と2日間のワークショップ

## かながわユース気候会議

12/7(土) 10:30~17:40 12/8(日) 10:00~17:40  
★ビジョンセンター横浜みなとみらい 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目6-1 センタービル7階 708室

主催：かながわ県民代表市民フォーラム 協力：ゼロエミッションを実現する会

「気候変動に関心のある」

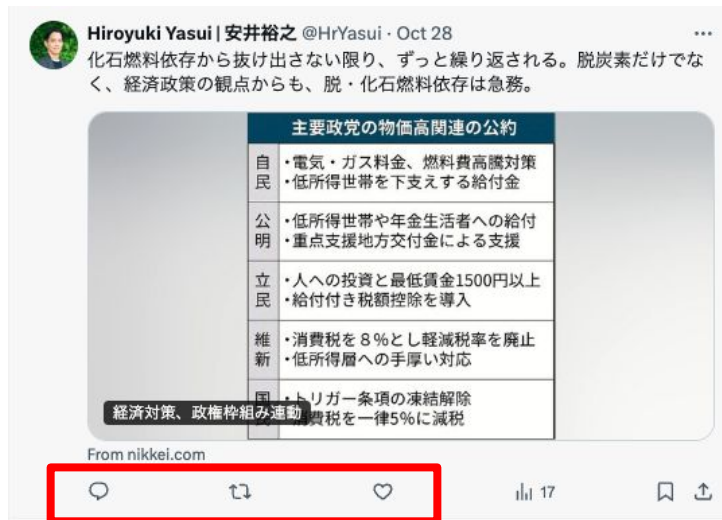
## 埼玉県民集まれ会議

日時 11/7(木) 19:30-21:00  
オンライン | 参加無料

気候危機が不安。だから何かしたい。でも何をすれば？  
その答え、仲間がいれば解決するかも？

主催：ゼロエミッションを実現する会

# 声をあげる：SNS等でいいね！・シェア・投稿



いまずぐ動こう、  
気温上昇を止めるために。

1.5℃の約束





# 声をあげる：パブリックコメント、要望・意見の提出

e-GOV パブリック・コメント

## エネルギー政策に関する意見箱

令和6年5月15日  
資源エネルギー庁

### 1.趣旨

令和6年5月より、総合資源エネルギー調査会基本政策分科会において、エネルギー基本計画の見直しを検討すべく、議論を開始しております。

今後のエネルギー政策の検討に当たっては、できる限り幅広い国民からの意見を募集すべく、意見箱を設置することいたしました。なお、いただいた意見は、基本政策分科会において、随時参考資料として配付し、議論の参考とさせていただきます。

▶ [総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会](#)

### 2.意見募集期間

第55回基本政策分科会(2024年5月15日)後からパブリックコメント実施前までの期間を予定

### 3.意見提出方法

以下のフォームより、御意見を御提出下さい。

なお、下記以外での御意見の提出には対応いたしかねますので、あらかじめ御了承ください。

> [送信フォーム](#)

# 声をあげる：パブリックコメント、要望・意見の提出



ワタシ  
の  
ミライ

エネルギー政策に関する

# 意見箱

に投稿しよう！

エネルギー基本計画の議論へ意見を送ろう！

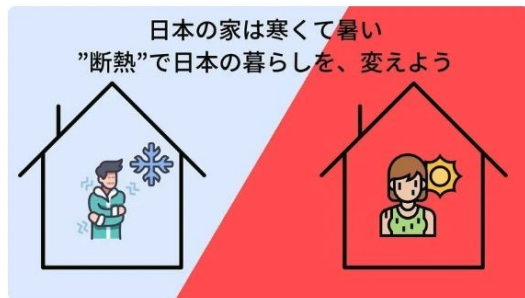
[サイトをチェック](#)

# 声をあげる：署名活動・政策提言への賛同・参加

[例] オンライン署名サイト「change.org」を利用した、建築物省エネ法案の早期国会提出を求める署名活動（22年2月開始）。15,000を超える署名を木原誠二官房副長官（当時）などへ提出。法案は同年の通常国会で成立。



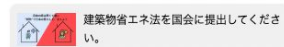
建築物省エネ法を国会に提出してください。



開始日 2022年2月1日  
署名の宛先 岸田総理大臣

オンライン署名成功！  
(認証済み)

15,558人の賛同者により、成功へ導かれました！



✉ Eメールで送信してシェア

📱 WhatsAppメッセージでシェア

🐦 X (旧:Twitter) でシェア

出典：Change.org



出典：新建ハウジング

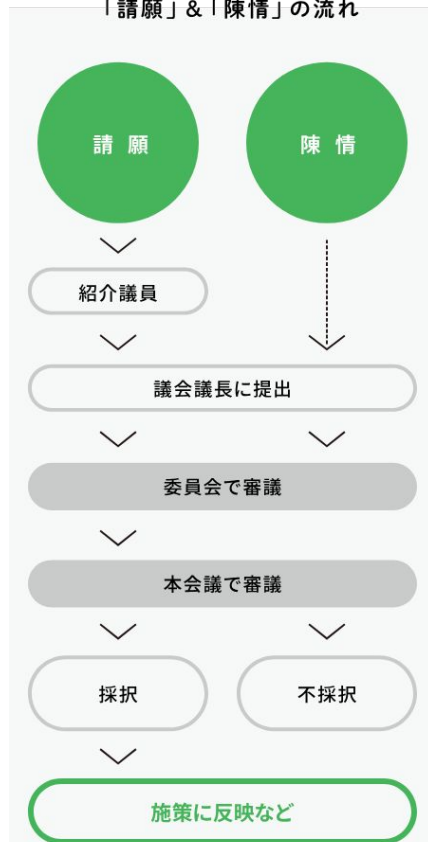
# 声をあげる：地方議会への請願・陳情

「請願」は、憲法に守られた、みんなの権利。  
生かさないともったいないよね。



出典：ゼロエミッションを実現する会

## 「請願」&「陳情」の流れ



# 声をあげる：投票



出典：ゼロエミッションを実現する会



# Change is Possible!

ご清聴ありがとうございました

